■After 建築名称 下段:英語名	ラ・セッラ La Serra		建築URL	
建築用途	大分類　宿泊施設	小分類	ミニアパートメント	
設計者				
所在地	Ivrea,Italy		Google Ma	
改修年	2018年ー	元建築の竣工年	1970年	
建築規模 構造・階数・面積	0			After　巨大なタイプライターと称されたラ・セッラ
掲載書誌				
賞・選定	ユネスコ世界遺産「20世紀の産業都市」, Prizes 2021 Rising Star Winner			撮影者 提供者　撮影:柳沢伸也(2005年)
主な関連法規、条例、助成金 等	ニュー・ヨーロピアン・バウハウス(New European Bauhaus)			概要 after　2018年にユネスコの世界遺産に登録されてから、半放棄状態の産業建築を、キッチンや屋内プール、Wi-Fi完備のミニアパートメント型宿泊施設として再生。歴史的価値を再利用
関連組織 等	Retrofitting the UNESCO site of Ivrea			
資料等	https://new-european-bauhaus.europa.eu/inspiring-projects-and-		資料のUR	
■Before 建築名称	ホテル・ラ・セッラ(Hotel La Serra)			概要 before　オリベッティ社の理念に基づいて1970年代に建てられた複合施設。ホテル、会議場、映画館、プールなどを備えた多目的施設として設計され、その独特な形状から「巨大なタイプライター」と称された。
建築用途	大分類　宿泊施設、集会施設、スポーツ施設	小分類	ホテル、会議センター、プール、シネ	

■写真

外観は建設当時のまま

撮影者
提供者　撮影:柳沢伸也

After　ピロティ状の部分

撮影者
提供者　撮影:柳沢伸也

After　恒例のオレンジ祭りが行われた日の様子

撮影者
提供者　撮影:柳沢伸也

■関連タグ／リノベーションキーワード	外観保存、産業遺産、
■リノベーション内容	オリベッティ社の理念に基づいて1970年代に建てられた複合施設。ホテル、会議場、映画館、プールなどを備えた多目的施設として設計され、その独特な形状から「巨大なタイプライター」と称された。アドリアーノ・オリベッティの「工場都市」実現の象徴とされた。設計者は、イジニオ・カッパイ & ピエトロ・マイナルディ。 2018年にユネスコ世界遺産に「20世紀の産業都市」として登録された。 半放棄状態の産業建築を、キッチンや屋内プール、Wi-Fi完備のミニアパートメント型宿泊施設として再生。さらに、歴史的価値を損なわずに、最新の環境技術を採用しながら再利用する「Retrofitting the UNESCO site of Ivrea」プロジェクトが進行中。
■備考	NEB公式プロジェクト資料:「Retrofitting the UNESCO site of Ivrea」 欧州連合のNEB公式ウェブサイトに、2021年にNEBプライズ「Preserved and transformed cultural heritage」でRising Starを受賞した「Retrofitting the UNESCO site of Ivrea」プロジェクトが掲載

■作成者 氏名／所属	柳沢伸也／JIA再生部会	作成協力者		整理番号	No. 209